

# 本を読むコツはなに？



## 頭の中で想像を膨らませよう！



酒井 邦嘉 先生

夏休みは、本に親しむチャンスです。  
本を読んで読書感想文にも挑戦してください。  
本を読むコツなどを、「脳を創る読書」(実業之日本社)の著者で、  
読書家の酒井邦嘉・東大教授に聞きました。

酒井先生の専門は言語脳科学。脳と言葉の関係を研究しています。最近「脳を創る読書」という本を出版し、話題になっています。自然の写真を撮るのが大好きで、「5月の金環日食も撮影しました」と笑顔だ。

### 読書感想文コンクール

本を読んだら「第58回青少年読書感想文全国コンクール」に挑戦しよう。自分の好きな本でもいいし、課題図書から選んでもいい。応募方法などは、ホームページ <http://www.dokusyokansoubun.jp/> を見てみよう。



読みたい本があったら、さっそく近くの図書館やお屋敷さんへ行ってみよう！

読書の面白さは頭の中で自由に想像を膨らませることにあります。しかし、本を読んでもイメージが湧きにくいこともあるでしょう。その時は同じ原作の映画やアニメを見てから本を読んでもよいと思います。キャラクターの顔や雰囲気、風景が分かり、想像しやすくなるでしょう。そして、登場人物の気持ちも理解しやすくなります。

理解が深まれば、登場人物の気持ちに分かるようになり、共感できることも反発を感じることもあるでしょう。そうなる読書が楽しくなります。

私は科学者の偉人伝が大好きでした。小学生のころには、「キュリー夫人伝」などを読みました。偉人といわれる人たちがどのような苦労をして、誰も考えないことを考えたのかなあと、いうところにあこがれがありました。

感想文を書くのが苦手な人もいるかもしれませんが、読書は一人一人の体験です。自分の心に響いたことを率直に書くことが大切だと思います。最初の書き出しに悩む人もいます。最初の手書き出しに悩む人もいます。最初の手書き出しに悩む人もいます。最初の手書き出しに悩む人もいます。

たかを書けばいいのですから、「僕は」「私は」で書き始めていいと思います。